

人の命が軽んじられることから、「戦争は最大の人権侵害」とも言われています。戦争に反対し、平和を願う気持ちを子どもたちに引き継いでほしいと願いを込めて生まれた「はつかいちへいわのうた・桜と空に折り鶴を」。その曲を作った音楽グループ「ムジークシュトラークセン」のお二人にお話を伺った。

戦争のない世界を このまちから

歌のチカラで、人を思いやることの大切さを伝える



写真1 平和の祭典のステージで「はつかいちへいわのうた・桜と空に折り鶴を」を歌う香川裕光さん。ギターとボーカルを担当。写真2 ムジークシュトラークセンのメンバー。上左から牧島真弓さん、吉川友美さん、田中由香さん、香川裕光さん。下左から大内咲良さん、朝倉加佳子さん。写真3 市内外で活動するムジークシュトラークセンの皆さん。



写真は、昨年7月に行われた「2013はつかいち平和の祭典」の様子。四季が丘小学校合唱団と共に「はつかいちへいわのうた・桜と空に折り鶴を」を歌い上げた。また、昨年から会場に甘日市高校書道部の皆さんが書いた歌詞を展示している。

「はつかいちへいわのうた
「桜と空に折り鶴を」
作詞・作曲 植広佳巳

風 ゆるやかに 葉を揺らす桜の町
青い空 雲に引かれ
訪れる新たな夏に
遠くなってゆく あの日の朝もそう
同じように こんなふうに
誰もが暮らした中 ここで生きてた
さよならも言えないままに
突然 奪われた 多くの命
罪のない人々だけでなく
緑も犬も猫も馬も虫の声も
遠く感じてたヒロシマと
現在の広島 水面の流れがつかなく
時間(とき)の壁 越えた折り
いま伝えたい この町の現在の姿を
灰の中 こぼれた涙を
絶望から立ち上がった人間の強さを
ヒロシマに寄り添うこの町で
毎年 希望を咲かせ 励まし続けた
桜たちのように 僕らも並んで
手を取り つなぎ飛ばそう
桜色の折り鶴

いつだって わずかな大人のために
砕かれる 平和の願い
でも人間の力で
壊せるものが「平和」なら
そう必ず 築いてもゆける
この地球の空の下
つながった空の下



ムジークシュトラークセン代表
たなか ゆか
田中 由香さん
(55歳・須賀)

Profile
青少年の健全育成の視点から、地域の大人と子どもたちの交流を通じて地域社会を創る「青少年夢プラン実行委員会」として、音楽活動を通じた「ムジークシュトラークセン」を支えている。興味のある人は、甘日市生涯学習課 ☎09203まで連絡を。

平和を願う歌が誕生 時代へのメッセー

平和な世界をこのまちから。そんな思いを込めた歌がこのまちにある。「はつかいちへいわのうた・桜と空に折り鶴を」だ。同曲は、「はつかいち平和の祭典実行委員会」からの依頼を受けた音楽活動グループ「ムジークシュトラークセン」が平成23年度に制作したものだ。「音楽には、人と人をつなぐチカラがあります。たとえ言葉が通じなくても、音楽があれば同じ時間を楽しく過ごすことができます。そのチカラで、人の輪を広げ、人が幸せを願う気持ちや平和を願う気持ちをつなげていきたいと思っています」。そう語るの、香川裕光さん。平成17年に結成されたムジークシュトラークセン。青少年の健全育成の視点でさまざまな活動を行う「青少年夢プラン実行委員会」のグループとして活動。20代を中心に現在メンバーは6人。グループ名は、ドイツ語で「音の道」という意味。音楽を通じて、みんなで同じ道を歩んで行けたらという思いで名付けられたという。「子どもたちにとって、『原爆』『戦争』といった言葉は、何か遠い国の出来事のような漠然としたものに捉えられがちです。しかし、それは現実の世界で起きたこと。戦争になれば、大切な友人や家族が突然いなくなることもあるということを考えてほしいと思っています」と香川さんは強調する。「子どもたちが身近に感じられるよう、市の木「桜」や「折り鶴」など、今の時代への素直なメッセーとして歌詩に思い

を込めました」と、作詞・作曲を手掛けた植広佳巳さんは話してくれた。

活動を通じて、 希望が持てる地域を

昨年、「はつかいち平和の祭典」のステージで、四季が丘小学校合唱団と共に歌い上げた。「児童に感想を聞いたところ、一人一人感じ方が違うところに驚きました。ごく当たり前の歌詞や私たちが思ってもいなかった部分に戦争の悲惨さや平和を感じていて、この歌が多くの人に平和を考えるきっかけになっていることを実感しました」と、代表の田中由香さん。歌詞の中の「ヒロシマ」という言葉は原爆を落とされた広島を。それに対し、「広島」は現在の街をイメージ。「四季が丘小の児童たちは、そういった細かい違いまで歌い分けてくれました。上手、下手ではなく、子どもらしく純粋に平和の歌と向き合おう姿に感動しました」と二人は声をそろえた。

平和の祭典実行委員会では、「この歌とともにこのまちから平和へのメッセーを発信していきたい」と話す。田中代表はこう続ける。「夢プランの活動は、子どもたちの居場所づくりにもつながっています。また、異年齢の人とのコミュニケーションを通じて、地域のつながりや自分の存在意義を感じることが出来ます」。「活動を通じて育った子どもたちが大人になり、若い子を引っ張っています。そうやって大事なものを引き継ぎ、人を思いやる心が育てば、希望が持てる差別のない明るい地域をつくっていきけると信じています」。



ムジークシュトラークセン所属
シンガーソングライター
かがわ ひろみつ
香川 裕光さん
(28歳・上平良)

Profile
シンガーソングライターとして、ソロ活動も精力的に行う。平成25年11月にはソロとしては初のミニアルバム「Sunday」を発売。青少年夢プラン実行委員会会長。「FMはつかいち」で毎月第2・4火曜日、20時~21時のパーソナリティーも務めている。